

いちばん近くで、動く、働く、

公明党 川崎市議団

④ 通学路の安全対策を急げ!

登下校中の児童生徒を襲う交通事故が絶えないことから、公明党は「通学路の速度規制や交通規制を強化し、交差点のカラー舗装化や車止めポール、横断防止柵、外側線の設置など安全対策を早急に実施せよ」と訴えました。

教育長は、「危険箇所を総点検し、警察や関係局と協議して改善を図る」ことを約束。市長からは「早急に対応を進めていく」との答弁を引き

き出しました。

公明党は、今後とも安全対策に全力で取り組んでいきます。



⑤ 市営住宅の入居基準の見直し図れ!

公明党は、市営住宅の高齢者世帯（世帯主が65歳以上）の割合が56.9%まで進んでいる実態を明らかにし、住環境などの充実を訴えました。

また、高齢者世帯や心身障害者世帯、未就学児童世帯の特認世帯の入居収入基準の拡充を要求。市は「ファミリー世帯や高齢者世帯な

どの応募状況などを踏まえ、緩和の範囲を検討し、条例改正に向けて取り組む」ことを明らかにしました。

さらに市は、若年ファミリー世帯について「抽選倍率を優遇する制度を、今年度中に導入する」と回答しました。

⑥ 将来の夢を**はぐく**む! 「宇宙教育」の推進を!

市内には青少年科学館や宇宙開発の一翼を担う先端企業や研究機関も多く、県内にはJAXA（宇宙航空研究開発機構）があるなど、宇宙教育活動を展開するには十分な環境が整っています。この点を踏まえて宇宙教育の推進について

話し合いました。市は今後、JAXAによる出前授業等の教育支援プログラムや「かわさき宙と緑の科学館」を中心に「星空ウォッチング」等を各学校に周知し、宇宙開発産業の関連企業との連携も検討していくこと明言しました。



諸団体との 政策懇談会実施!

公明党川崎市議団は、7月6日から20日まで、川崎商工会議所をはじめ福祉団体等との政策懇談会を精力的に実施。国会議員秘書も同席し、貴重なご意見・ご要望をいただきました。

今後の政策課題と受け止めて委員会、議会質問に反映させていきます。



エネルギー 対策を推進

公明党川崎市議団は、市内臨海部に誘致された「エリーパワー株式会社」を視察。6月に完成した同工場はリチウムイオン電池を年間100万個生産可能で、移動型室内用蓄電システムに搭載し、緊急時等の電力供給が可能。公明党は、今後もエネルギー対策に真剣に取り組めます。

